

みてみて☆1歳6か月児 ～子どもの心と体を育てよう～

☆この時期のお子さんの特徴☆

- ・興味が広がり、気になるものや欲しいものなど、指をさして教えてくれます。
- ・人に関わることが活発になり、やりとりを楽しむことが増えます。
- ・物の名前を理解し、ことばを話すようになります。

○運動

- ・物を持って歩いたり、しゃがんだり、障害物を避けて歩きます。



○遊び

- ・おもちゃのシャベル・コップ・包丁など道具を使って遊びます。
- ・電話をする「ふり」などをして遊びます。
- ・大人とのやりとりを楽しむようになります。



○ことば

- ・名前を呼ぶと振り向きます。
- ・「持ってきて」など大人の言うことを理解し行動します。
- ・身の回りの物や、好きなキャラクターなどの名前が分かります。
- ・「ワンワン」「ブーブー」「チャーチャ」などのことばを話します。

☆こんな遊びが楽しめます☆

○体を使った遊び



○ごっこ遊び（ふり遊びっこ）、指先を使う遊び



○ことば、関わり



☆ワンポイントアドバイス☆

人とのやりとりの中で、コミュニケーションが豊かになり、ことばの理解・発語が広がります。

特にこんな場面では、子どもの興味や気持ちを感じ、優しく共感した関わりが大切です。

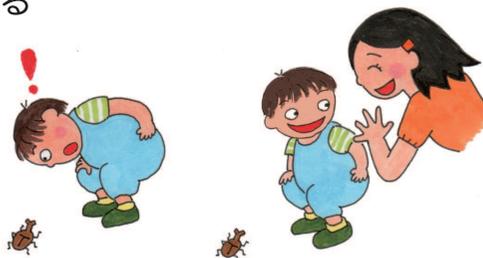
○ 興味のあるものを指さして伝える



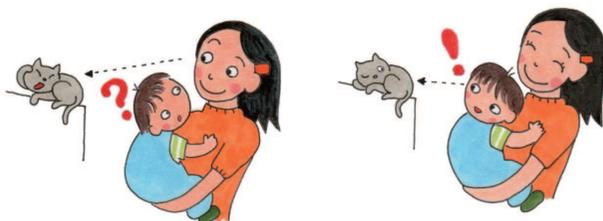
○ 興味のあるものを持ってくる



○ 興味のあるものを目で伝える



○ 大人の視線を追う



* 視線だけでもコミュニケーションができます。

☆このような時は相談しましょう☆

○ 運動

- ・片手を持って階段がのぼれない。
- ・親を振り返らず一人でどんどん行ってしまう。
- ・コップを持って飲めない。



○ 遊び

- ・1人遊びが多く、手がかからない。
- ・食べ物でない物をなめることが好き。
- ・回るものや光るものを見る。おもちゃを横目でみるなど、見え方を楽しむことが多い。
- ・次々とほかのおもちゃへ興味に移る。同じもので遊び続け、遊びが広がらない。
- ・何でもないような音を極端に嫌がる。



○ 人とのやりとり

- ・視線が合わない。
- ・名前を呼んでも振り向かない。
- ・周りの人の真似をしない。
- ・バイバイができない。
- ・指さしをしない。



相談先 各健康サポートセンター

編集協力 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 児童・思春期精神保健研究部
信濃医療福祉センター

イラスト：築館千枝 レイアウト：高橋宏一

発行 諏訪保健福祉事務所管内保健業務研究会（平成24年7月）